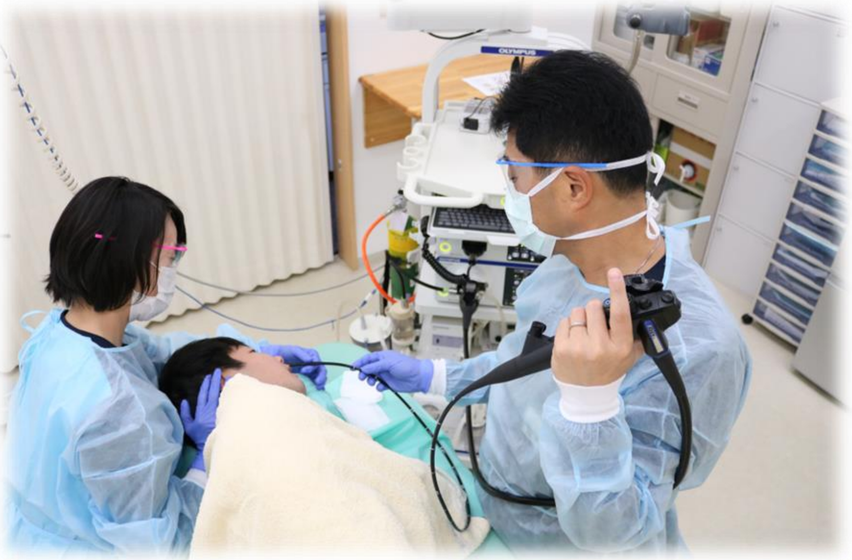
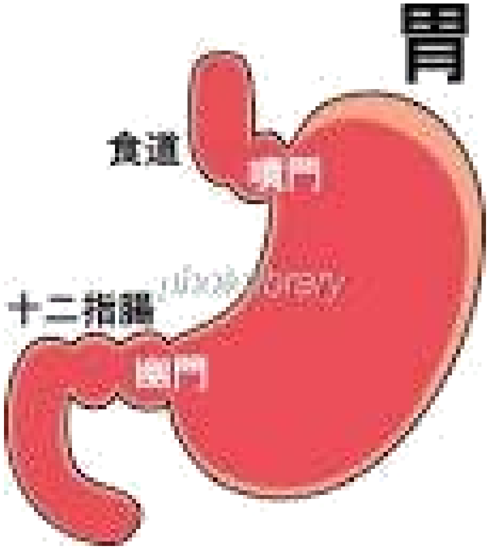
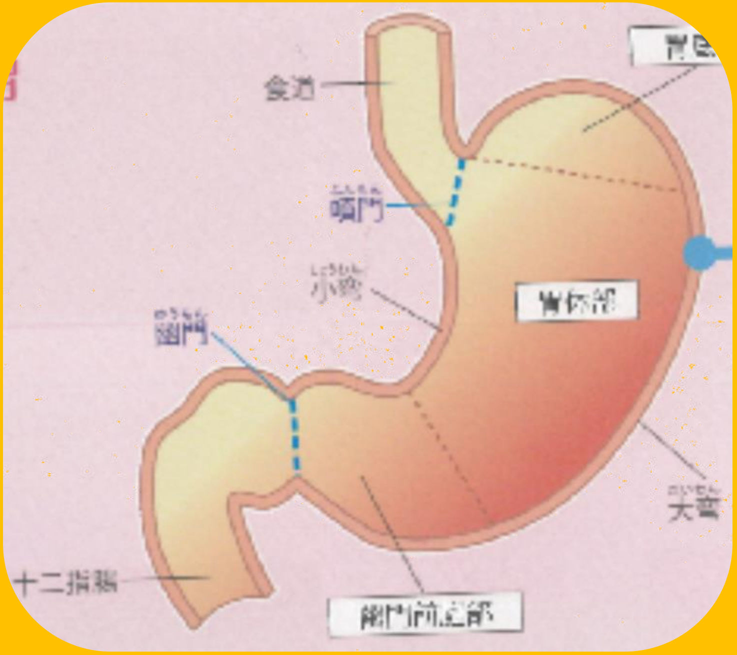
はじめに・・・

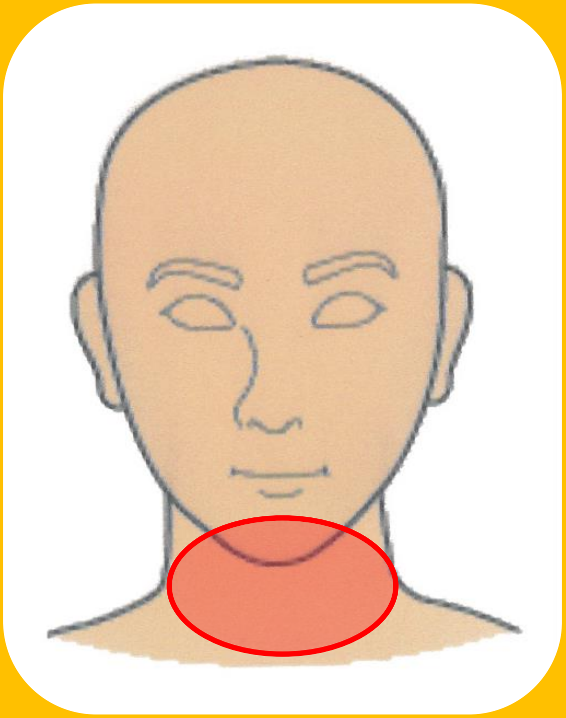
上部消化管内視鏡検査とは、
俗に**「胃カメラ」**
と、呼ばれている検査です





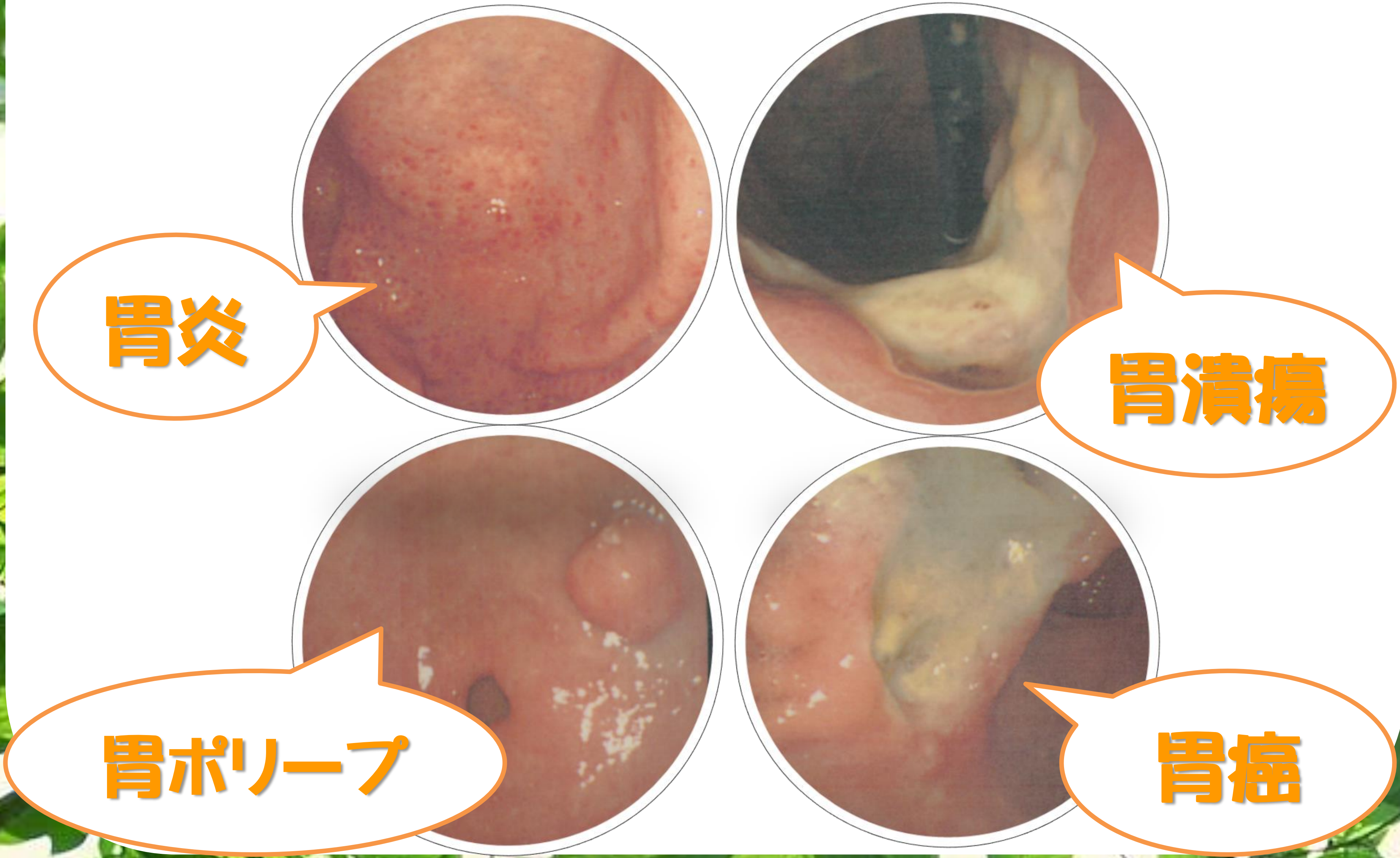
当院の胃カメラでは・・・





従来の食道・胃・十二指腸に加え、
のど（喉）の病変も観察できます。

主な胃の病気



当院の胃カメラは、鼻から挿入します。

標準型

当院で使用

利点

① のど（喉）も観察出来る

② 挿入時の患者さん負担が少ない

③ 嘔吐が起きにくい

④ 会話が出来る

胃カメラ始めます

① 鼻血予防の薬

鼻から胃カメラを
挿入するため、
鼻の中に鼻血予防の
お薬をつけます。
お薬は念のため
両方の鼻の中につけます。

両方の鼻に1滴ずつ入れますね

② 消包剤の服用

胃の中を
見やすくするため、
胃の泡を消す水薬
（約30ml）を
飲みます。

「ぐびぐび」っと美味しそうに飲んでますね

③ 麻酔剤を噴霧

ベットに仰向けになり、
両方の鼻の中に
麻酔のお薬をつけます。

シューッと、勢い良く入りますので
ビックリしないで下さいね

④　左側臥位姿勢

今度は 左を下にして
横向きの姿勢になり、
先生を待っています。

ここで、検査中のお願いがあります。

胃カメラ検査中のお願い

1. とにかく体の力を抜いて下さい。
力が入るとカメラが入りづらくなります。
リラックスしましょう。

2. ゆっくり呼吸しましょう。

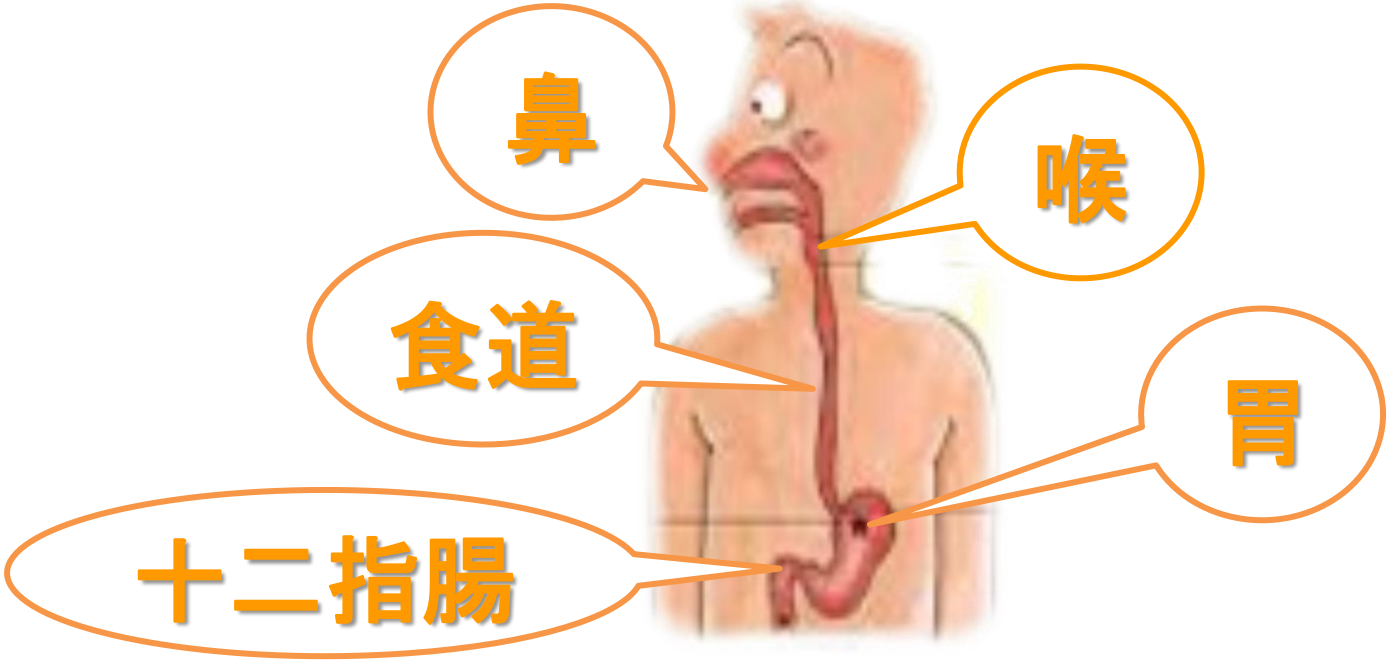
3. 鼻の奥に1カ所だけ
狭くて辛い場所があります。
あまり辛い時は教えて下さいね。

⑤ 検査開始（検査時間約5分）

鼻からカメラを
挿入します。
まず、右の鼻から
カメラを入れてみます。
入らない時は、
左の鼻から入れてみます。
左も入らない時は
口からの挿入となります。

カメラが鼻から入りますよー。

観察の順番



鼻からカメラを入れて、喉→食道→胃→十二指腸。
再度、胃に戻り　しっかり胃の中を見ます。
胃→食道→喉→鼻の順に観察します。

胃カメラ検査後のお願い

1

検査後約1時間は、
まだ麻酔が効いていますので
食べたり飲んだりしないで下さい。

2

検査後約1時間は、
鼻血が出やすくなっていますので
鼻を強くかまないで下さい。

検査後は、
診察室で先生から検査結果の説明を聞いて
終了となります。